

令和6年度

第1回臨時評議員会議事録

公益財団法人東京都中小企業振興公社

令和6年度第1回臨時評議員会議事録

- 1 日時 令和6年4月12日(金) 午前10時～午前11時
- 2 場所 東京都産業労働局秋葉原庁舎3階 第1会議室
(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9)
- 3 評議員の現在数 10名
- 4 出席要件 6名
- 5 出席評議員の数及び氏名 10名
井上 裕之
村越 政雄
中村 洋介
會津 健
桑島 俊彦
廣瀬 隆博
森川 雅章
大塚 敬章
二岡 勝
早川 八十
- 6 出席理事の数及び氏名 3名
中西 充
矢田部 裕文
荒井 英樹
- 7 出席監事の数及び氏名 2名
佐藤 智香
池野 大介
- 8 議長 早川 八十
- 9 議事録作成に係る職務を行った者 中西 充
- 10 議事次第
 - 【 議決事項 】
 - 議案第1号 評議員及び理事の選任に関する件
 - 議案第2号 役員等報酬等規程の改正に関する件
 - 【 報告事項 】
 - 報告事項1 令和6年度事業計画及び収支予算について

11 会議の概要

(1) 開 会

議事に先立ち、進行役を務める事務局より、出席状況を述べ、定款第20条第1項に定める定足数を満たしていることから、本評議員会が成立していることを報告した。

(2) 議長の選任及び議事録署名人の選出

定款第19条の規定に基づき、出席した評議員の互選により選出された早川八十評議員が議長に就いた。

定款第21条第2項の規定に基づく議事録署名人には、出席評議員全員の委任を受けて議長が桑島俊彦評議員及び村越政雄評議員を指名し、両評議員も承諾した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

① 議案第1号 評議員及び理事の選任に関する件

議長は、事務局に対し、議案第1号について説明を求め、配布資料に基づき、事務局が説明を行った。このことについて、小倉悟評議員から辞任の申し出があり、評議員の所属団体からの推薦等の手続きにより、阿部武史氏を後任の評議員に選任したい旨の説明があった。

また、山崎太郎理事、山下健理事、石岡由江理事の3名から辞任の申し出があり、理事の所属団体からの推薦等の手続きにより、山崎理事に対しては阿部泰之氏を、山下理事に対しては上田裕子氏を、石岡理事に対しては藤野健氏を後任の理事に選任したい旨の説明があった。

続いて、議長が評議員に対し質問及び意見を求めたところ、質疑等がなかったため、議長が評議員の選任を行い、続いて定款第20条第3項に基づき、理事の選任を候補者ごとに行った。いずれの選任も出席評議員全員異議なく、原案どおり決定された。

② 議案第2号 役員等報酬等規程の改正に関する件

議長は、事務局に対し、議案第2号について説明を求め、配布資料に基づき、事務局が説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し質問及び意見を求めたところ、質疑等が無かったため、議長が議案第2号について諮り、出席評議員全員異議なく、原案どおり決定された。

③ 報告事項1 令和6年度事業計画及び収支予算について

議長は、事務局に対し、報告事項1について説明を求め、配布資料に基づき、事務局が説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し質問及び意見を求めたところ、下記のとおり質疑応答があった。

<評議員>

「中堅・中小企業のサプライチェーンにおける脱炭素化促進支援事業」の支援対象とされる“中堅企業”の定義を教えてください。

<事務局>

「中小企業基本法」の定める定義・要件に基づく中小企業の中でも、規模が大きい企業について指している。同法の定める中小企業を支援することに間違いはない。

<評議員>

1点目、「5Gによる製造工場のDX・GX推進事業」について、更なる資金の投入など、積極的な支援が必要ではないか。

2点目、「加工食品等海外販路開拓支援事業」について、インバウンド需要の拡大により、日本の食品に対する関心が高まりを見せている中、海外市場の開拓に向けた取組を更に後押しする必要があるのではないか。

3点目、令和6年度収支予算における運用益について、現在の金利の上昇に伴い、より積極的な運用によって運用益を増やし、さらなる収益拡大と有効活用に向けた検討を行うのはいかがか。

<事務局>

1点目については昨年度、3社への支援を通じて5G関連の取り組みを実施。成果が見られるものの、5G技術の活用方法に関しては専門知識やリソースの不足など、依然として課題が残っており、これらの課題に対処するため、成果の積み上げを通じて成功や失敗の事例を共有し、持続的な改善を目指していく。

2点目について、本事業では東京都の地域特産品認証食品である、Eマーク認証食品を持つ企業の海外展開を支援予定。商工会議所や商工会の管内にある中小企業、会員企業にも認証マークを持つ企業が多数あると伺っており、その海外展開を促進するため、今後、商工会議所や商工会を訪問し、事業の詳細を説明する予定。

3点目について、公社が管理する資金は基本的に公的資金であり、高いリスクを伴う投資には慎重にならざるを得ず、その安全性が重視されている。さらなる収益拡大と有効活用に向け、安全な範囲内のより適切な運用方法について、引き続き検討していく。

以上をもって、議事に対する審議を終了した。

(4) 閉 会

議長が閉会を宣言して令和6年度第1回臨時評議員会を終了した。

本評議員会の議決を証明するため、議長及び議事録署名人が署名押印する。

令和6年4月12日

議長 早川 八十 印

議事録署名人 桑島 俊彦 印

議事録署名人 村越 政雄 印